

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・会社の経営理念を外部にもお知らせし、会社のあるべき姿を従業員以外にも広く説明共有している。 ・従業員は、経営理念に基づく会社や組織のビジョンやイメージを共有し、同じ方向性を持って業務や目標に取り組んでいる。 ・各部署が掲げるアクションプランを軸に、部員全員が目標達成や付加価値の向上、課題解決を実践している。 ・中期事業計画の策定、周知により、事業の根底となる経営理念を再認識している。									8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・会社掲示板等で法令の遵守を全従業員に発信し啓発を行っている。 ・法改正等に対し社内レビュー等を実施し、法令遵守と運用見直しの最新化に取り組んでいる。 ・チェック機能や人的体制を構築し、内部監査も含めた法令遵守への取組みを実践している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・営業推進会議、見積検討会等において、数字の妥当性、仕入先等への不当な値引き状況等がないか第三者目線でチェックしている。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として、総務部長を任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・新規の自社パッケージソフトウェア開発や既存パッケージソフトウェアの機能拡大の初期段階から他社特許や商標、著作権などを慎重に確認する事前検討会を実施している。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・プライバシーマークを取得し、社内PDCAを実施し、情報漏洩防止を徹底している。 ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を示した個人情報保護マニュアル、個人情報保護規程を作成している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・取引先への定期的なWebアンケートなど、顧客の声(特に苦情)を大事にし、双方向コミュニケーションや品質の向上に取り組んでいる。 ・パートナー企業や行政機関、熊本県情報サービス産業協会などの各種審議会やワークグループへの参加、外部役員就任などにおいて、影響の把握共有、対応に取り組んでいる。																	16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・パートナー企業主催のコンソーシアムに参加し、ハラスマントや事業継続計画、緊急時の仕入機器等の調達支援などに対して共通認識を持つ取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震の経験を踏まえ、消防計画・事業継続計画を策定し、定期的な避難訓練等を実施している。 ・防災計画(台風・大雨等)を策定し、社員の安全、事業継続に備えている。また、緊急連絡網のテストなど、非常事態に備えた訓練などを実施している。 ・パートナー企業と災害時総合応援コンソーシアム協定を結んでいる。									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・管理職研修、階層別研修を実施し、後継者・幹部社員等の育成に取り組んでいる。 ・中長期経営計画を作成し、同計画を基に、人事制度・評価制度、育成計画の見直しを実施している。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会を設置し講習会や月1回の会議を実施している。 ・メンタルヘルス(心の健康)を確保するため、職場での心理的安全性(恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる職場環境)実現に向けた管理職教育や啓発活動を実施している。 ・第二種衛生管理者4名を配置している。 ・毎月、火元責任者にて各フロアの設備について、自主点検を行っている。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・定年後再雇用社員・パートタイム雇用社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間や有休取得状況を管理(見える化)し、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している。 ・資格取得の報奨金制度を創設している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎月の安全衛生委員会にて健康増進への取組みの促進を行っている。 ・従業員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、熊本県のスマートライフプロジェクトに毎年参加している。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・健康経営優良法人(経済産業省)の認定を受けている。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別の待遇はない。 ・定年後の再雇用時に、従事する業務をヒアリングし、適材適所で仕事ができるよう配慮している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・時差出勤、在宅勤務(テレワーク等)を導入するなど、新しい働き方にに対する労務管理体制を整備している。 ・ウェブ会議、会議室の窓開けなどを徹底している。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	●	・経費精算クラウドシステムの導入による、申請決裁のペーパレス、精算時の社員口座振込によるキャッシュレスを実装している。 ・ワークフローWebシステムを導入し、各種申請書類のペーパレスを実装している。 ・請求書電子化システムを導入し、ペーパレス化、輸送削減に務めている。 ・ペーパレス、キャッシュレスによるテレワークを推進している。								8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	●	・プライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9		12								

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出している。 ・執務フロアの休憩時消灯や社内共用箇所の常時一部消灯などを行い抑制を行っている。 ・外出や出張時に可能な限り車移動から公共交通機関移動への促しなど安全性も含めた抑制を行っている。							7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いて温室効果ガス排出量を算出している。 ・執務フロアの休憩時消灯や社内共用箇所の常時一部消灯などを行い抑制を行っている。 ・外出や出張時に可能な限り車移動から公共交通機関移動への促しなど安全性も含めた抑制を行っている。 ・社員の社内クールビズやドレスコードフリーにより、服装を季節に応じて柔軟に対応できるようにし、エアコン利用の抑制を行っている。 ・非化石を原料とした電力供給に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、ペーパレスなどの使用削減に取り組んでいる。 ・緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出に支援している。 (阿蘇市の自然環境や景観維持目的への支援寄付)					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペットボトルキャップの回収を行い、定期的に受取団体に提出している。 ・社内の会議や打合せ等では紙の配布は行わず、画面共有による電子資料で行っている。 ・社内申請等もワークフローや電子決裁システムを利用し、紙を使用していない。 ・FAX等の紙を使用せざるを得ない場合は、裏紙の利用を促進している。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事業所内設備に節水器具を使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		プリントナーは、環境共生トナーを利用している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・社内宴会時において3010運動(開始30分、終了10分の自席での食事)を推奨している。	1	2			6.4						12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・会社敷地内草木の剪定、防虫、除草、植栽等による保全管理を行っている。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・外出や出張時に可能な限り車移動から公共交通機関移動への促しなど安全性も含めた抑制を行っている。						9.4		11.2		13.1 13.3								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・非化石を原料とした電力供給に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・提供するサービスの質を確保するため、インストラクターによるサポート窓口の設置やアンケートの実施などにより顧客の意見を聞き、関係者で共有、活用している。 ・QMS(ISO9001)の取得を行い、高品質なプロダクトおよびソリューションを提供する品質管理マネジメントを構築している。				3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・提供するパッケージソフトにアクセシビリティを意識した開発を行っている。 ・社屋はパリアフリー構造とし、障がい者用トイレの設置などを行っている。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3	2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●							7							12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・災害時に要援護者を支援するシステムを提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3	2.4						8.2	9.2	9.4		11.a	12.2		14	15	17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・県内の様々な活動(緑地整備事業、社会福祉事業、人材育成事業など)への寄付を行い、各種事業への支援に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・避難行動マニュアルを作成し、定期的に教育、避難訓練を行っている。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		・災害時に要援護者を支援するシステムを提供している。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・専門学生や大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。 ・学校へ出向き、IT業界の説明など講義を実施している。				4					8.6		10.2					17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・地元の生徒、学生を積極的に雇用している。 ・若者や子供を支援する寄附・協賛等を行っている。特定非営利活動法人「NEXT熊本」が開催する「NEXT夢コンテスト」、熊本県立図書館「こども本の森」に賛助している。				4.4					8.5	8.6							17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3	4.4	4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。